

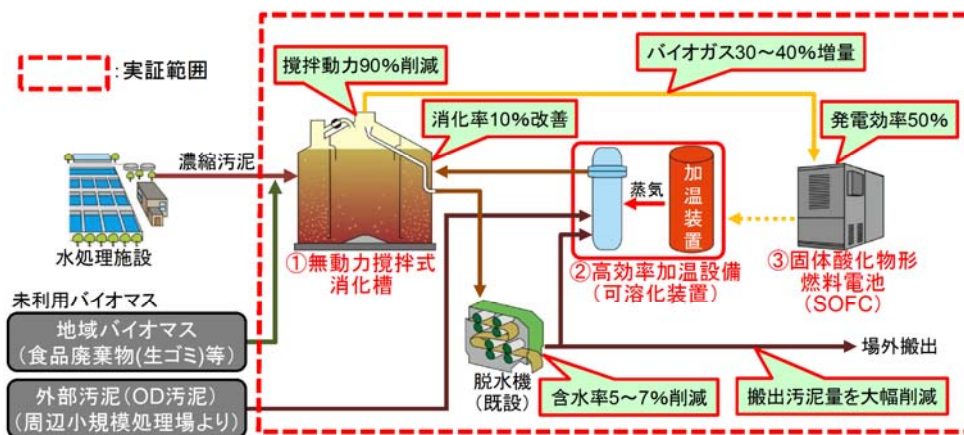
## 三菱化工機ニュース（プレスリリース情報）

No.440 平成29年4月18日  
企画部 経営企画グループ

### 下水道革新的技術実証事業（B-DASHプロジェクト 平成29年度） ～ 高効率消化システムによる地産地消エネルギー活用技術の実用化に関する実証事業 ～ について

三菱化工機株式会社（社長：高木紀一）が、日本下水道事業団、九州大学、唐津市との共同研究体で進めている、汚泥消化技術を用いた地産地消型エネルギーシステムの構築に向けた低コストなバイオマス活用技術が、国土交通省の平成29年度「下水道革新的技術実証事業（通称：B-DASHプロジェクト）」に採択されました。本事業の採択等が、平成29年4月14日（金）に国土交通省により発表されましたので、事業概要をお知らせします。

- 1 事業名 高効率消化システムによる地産地消エネルギー活用技術の実用化に関する実証事業  
～地域バイオマス活用サステナブルデザイン～
- 2 実施場所 唐津市浄水センター（佐賀県唐津市二タ子3丁目1番6号）
- 3 共同研究体 三菱化工機（株）、九州大学、日本下水道事業団、唐津市
- 4 事業期間 契約締結日の翌日～平成30年3月31日まで（予定）
- 5 事業内容 本事業では、高効率な汚泥消化技術の組み合わせにより、下水汚泥を含む未利用バイオマスの活用を推進し地産地消のエネルギーシステムの確立に向けて実証事業を行います。
- 6 実証イメージ



- 7 本事業により期待される効果
  - 1）無動力攪拌式消化槽、高効率加温設備（可溶化装置）、固体酸化物形燃料電池（SOFC）の各技術を組み合わせることにより、下水処理場のエネルギー自給率の大幅な向上が期待されます。
  - 2）熱可溶化による熱加水分解作用によって、消化槽での消化日数が短縮されるため、他の地域バイオマスの受入れが可能となり、地産地消エネルギーシステムの構築に寄与します。

当社は、多くの下水処理場における機械設備設置工事の実績から培ってきた技術と知見があります。高効率消化技術を組み合わせたバイオマスの活用技術により、新たな地域エネルギーの自給システムモデルの確立を目指して、注力してまいります。

◎4月24日（月）15：00より唐津市役所（3階 大会議室）にて共同研究体合意書調印式及び記者発表を行います。

お問い合わせ先

三菱化工機株式会社 川崎市川崎区大川町2番1号 企画部 経営企画グループ